

善行ふれあいだより 第12号

発行 2025年(令和7年)3月25日
編集 善行地区郷土づくり推進会議
広報部会
事務局 藤沢市 善行市民センター
〒251-0871 藤沢市善行1-2-3
TEL 0466-81-4431
FAX 0466-81-4441
E-mail fj-zengyo-c@city.fujisawa.lg.jp



2月15日(土)に善行市民センター1多目的ホールにおいて、令和6年度善行地区全体集會を開催しました。まず、善行地区郷土づくり推進会議について改めて皆さんに知っていただくため、善行の歴史と郷土づくり推進会議の概要を説明しました。

全体集會を開催



各地域団体の活動を紹介したパネル展示



子ども実行委員が登壇

次に、善行地区の課題を6つに分類し、それぞれに対し、推進会議としてどのような活動をしているかを報告しました。

報告の最後には、1月25日、26日開催の「善行イイコミツケ」善行をめぐる旅」を成功させた「子ども実行委員会」のことも達成も登壇し、苦労した点や楽しかったことなどを一言ずつ発表しました。

活動報告を終えた後、47人の参加者の皆さんと貴重な意見交換を行い、これからの活動に多いに役立つ「意見や工夫をいただき、実りある有意義な全体集會になりました。

活動報告の内容

課題①バリアフリー化に向けて

- ・善行駅周辺道路のバリアフリー化事業
- ・外出支援事業(神奈中バスの延伸の実現、「善行地区お買い物宅配サービス」の全戸配布)
- ・課題②公共施設の充実
- ・市民の活動という視点で市民の居場所を調査・地図化(「でかけよう!善行」の全戸配布)
- ・課題③防犯活動の見える化
- ・地域内の危険箇所の点検結果を地図化(マップを善行市民センターに掲出)
- ・課題④高齢化社会に伴う市民自治活動
- ・防災を切り口にした高齢化に伴う自治会活動の見直し(継続課題)
- ・課題⑤ボランティア窓口
- ・希望するボランティアに気軽に参加できる仕組みづくり(継続課題)
- ・課題⑥広報力の向上
- ・善行地区に馴染み深い風景写真を通じた人々の印象に残る広報活動(風景写真の映像化、写真の応募作品を活用したポスター作成など)
- ・過去の資産・レガシーの継承(「善行かた」善行ふれあいの見直し「善行」の活用)
- ・「子ども実行委員会」による「善行イイコミツケ」の実施
- ・※各事業の詳細は2〜3面をご覧ください。



各地域団体の活動状況



自治会連合会

◆善行地区総合防災訓練や自治会・町内会長による情報交換会、新春のつどい、避難所運営ゲーム(HUG)を体験しながらの防災講演会を実施しました。



地区総合防災訓練(翔陵高校にて)

防犯協会

◆定例的な昼夜のパトロール、子どもの見守り、身近な危険から身を守るための防犯講座やVR防犯講習会を実施しました。



青パトで地域をパトロール

生活環境協議会

◆ゴミゼロクリーンキャンペーン、一日清掃デーに加え、小さい頃から環境に興味を持ってもらえるよう環境映画会を実施しました。

青少年育成協力会

◆夏期パトロールやぜんぎょうっ子三行詩、缶バッジづくり、春の子どもフェスティバルを実施しました。



つくろう!自分だけの缶バッジ

社会福祉協議会

◆敬老会や子育てひろば、ふれあいましめ飾りづくりに加え、楽生会やポッチャ大会、ふれあい収穫体験(いちご狩り)など新たな事業も始まっています。



ふれあいましめ飾りづくり

民生委員児童委員協議会

◆普段からの見守りや高齢者世帯現況調査など民生委員・児童委員の活動や、子育てひろば、敬老会、楽生会などの事業に協力しました。

三者ふれあいネットワーク

◆教育文化のつどいとして善行かるた大会や、紙ヒコーキ飛ばし大会を開催しました。



善行かるた大会

老人クラブ連合会

◆地区内の老人クラブ相互の連絡調整を行うとともに、毎年恒例のゲートボール大会を開催しています。

パートナーシップ善行

◆善行地区ボランティアセンターとして草刈りや大型ゴミ搬出、蛍光灯の交換等の生活支援や毎月2回のクリーンウォークなどを行っています。

その他

◆5月19日に、善行発!子育て応援メッセージが開催されました。



善行地区郷土づくり推進会議の詳細はこちらから



まちのどこかで

我が街で遺跡の発掘が進んでいる。善行遺跡(市民センター付近)という。これまで、縄文時代の竪穴住居跡、土器や石器が見つかった。今回の第3次調査(2025年3月まで)でも、古代や近世の新たな発見があったというから驚きだ。坂のまち・善行は大昔から人の暮らしが脈々と続いてきた土地らしい。(W)



善行遺跡

意見交換でいただいた「ご意見」(抜粋)

◆「のりあい善行」を土日や年末も買物などで利用したい。

↓地域の方々の要望や協力が高まることで増便などの検討もできる。そのような声をどんどん上げてほしい。

◆「善行イイコミツケ!」は西部地区だけで行われたようだが東部地区も含めるべきではないか。

↓今回は初めての試みであり、第一弾として西部地区を中心に実施した。次回は中心エリアを変え第二弾として実施できたらと思う。

◆「子ども実行委員会」に保野小や大清水小が参加していないようだが、

↓声掛けしたが今回は残念ながら参加できなかった。引き続き声掛けしながら、善行地区全体で事業を盛り立てていきたい。

◆「子ども実行委員会」事業はぜひほしい。ぜひこれからも継続してほしい。

※アンケートでいただいた様々なご意見も含め、今後の活動の参考にさせていただきます。

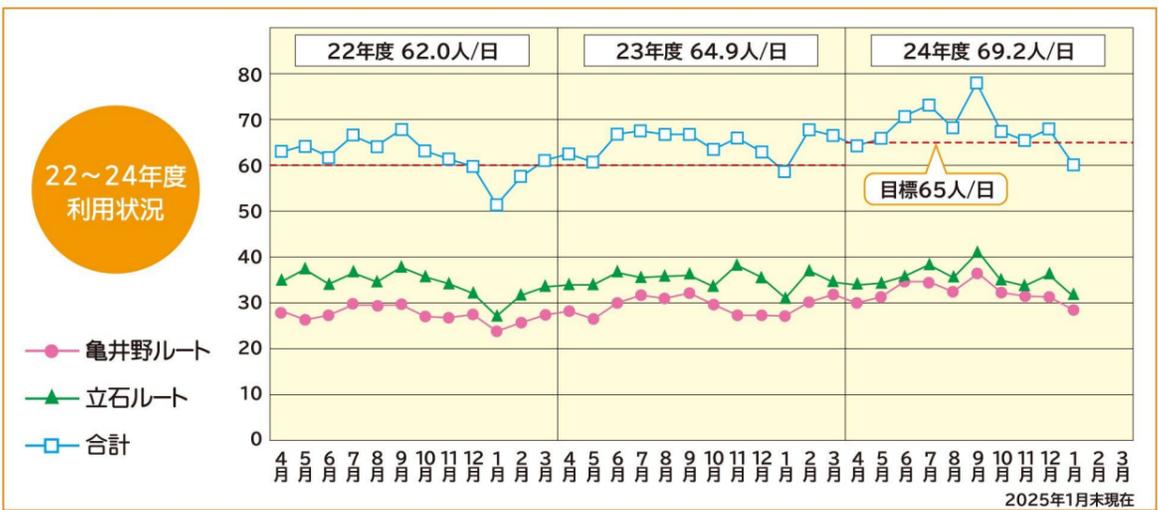
地域活性化部会

平成26年度に発足した「バリアフリー化部会（現地域活性化部会）」は今年で11年になります。これまで、善行駅周辺の道路、地域のバリアフリー化に向けた活動をしてきました。

「善行駅周辺地区移動円滑基本構想」及び「道路特定事業計画」のうち、善行駅から西側の善行25号線については富士見坂の上から3分割し、令和4年、5年と工事を進め今年度は最終部分の工事が完了しました。善行5号線、石名坂善行線の検討も引き続き進めていきます。



高齢者等移動支援部会



「地域を支えるみんなの足のりあい善行」をモットーに地域の情報を集め、動き始めて早や10年目を迎え、地域の足として皆さんに活用されています。乗車人数が増えましたが、さまざまな課題も見えてきました。来年は節目を記念した事業も進めていきます。

2019年7月に、藤沢駅から往原工業団地へのバス路線を善行駅まで延伸してほしいと市へ要望しました。このたびは2024年11月16日から延伸が開始されました。

買い物支援として、お買い物宅配サービス一覧表を全戸配布及び公民館まつりで配布しました。また、シェアサイクルのポート（自転車の貸し出しや返却を行う専用の駐輪場）が現在、善行地区には4か所設置されています。駅周辺を中心にポートを増やせるよう候補地を模索していきます。



子ども実行委員会

「善行イイトミツケ」善行をめぐる旅」のイベントを開催しました。善行の良さを子どもたちに伝えるために、「善行イイトミツケ」を組み合わせたミッション（課題）を出題し、善行の町を歩いてももらいました。



子ども実行委員会の様子

また、このイベントの大きな特色は、企画・準備の段階から子ども達が、子ども実行委員として参加し、イベント運営の主体としての経験を積むことです。

参加者数は213人で、藤沢市以外の方もいました。ミッション達成者からのアンケート結果では、「とても良かった・良かった」と答えられた方が92%と大変高い割合でした。両日ともまずまずの天候に恵まれたこと、そして何より子ども達が頑張ってくれたことが大きかったと思います。地域の方々にサポートしていただきありがとうございました。

「善行イイトミツケ」善行をめぐる旅」のイベントを開催しました。善行の良さを子どもたちに伝えるために、「善行イイトミツケ」を組み合わせたミッション（課題）を出題し、善行の町を歩いてももらいました。



受付でチェックインさあミッションスタート

地域福祉部会

「でがけよう！善行」を各戸配布する

昨年度から情報収集や取材を重ねて作成した、善行地区の情報紙「でがけよう！善行」ができました。市民が作った市民のための活動の場、誰でも気軽に参加できる場や健康遊具が設置されている公園などを地図上で分かりやすく紹介しています。

多くの方々を活用し、善行地区を楽しんでいただきたいと思います。善行市民センターや紙面で紹介している施設などにも置いてあります。

今後、地区内で各戸配布が届かない方々にも配布する方法を検討、実施していきます。

アンケート結果

★参加した感想 (とてもよかった68%)

- 小学生〜幅広い年代の人が協力して町を盛りあげている姿がステキでした。たのしかったです！
- 善行の町の知らなかった魅力を感じることができた。
- 歩くのが大変だった。「善行かた」から探すのが楽しかった。
- ふつうだった7%
- 小さい子連れだと辛かった。
- あまりよくなかった1%
- 歩くのが疲れたから。
- 悪かった0%

★住まい

地域	人数
善行地区	132
片瀬地区	1
鶴沼地区	1
村岡地区	1
藤沢地区	6
湘南大庭地区	1
六会地区	5
湘南台地区	2
藤沢市外	2

交流会「善行地区での防災を考える」を開催

「防災をめぐりまわす」をめぐり活動しています。災害時の避難生活について、地域で何ができるのかを学び、話し合い、情報を共有することが、災害時の自助や共助に繋がると期待されます。

12月10日、善行市民センター多目的ホールでみまもり善行（協議体）と連携し「善行地区での防災を考える」合同交流会を開催しました。参加者43名が8グループに分かれ、市社協小野会長から「漠然とした不安から具体的なイメージで備える」話を聞き、意見交換を行いました。ラジオの利用、避難ルート確認、避難所の生活パトロール、トイレや下水、自助への不安、安心見守りカード、個別状況への対応など、話題が多岐にわたり活発な話し合いが行われました。



グループの話し合い